

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援室みらい(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年4月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年4月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公認心理師、作業療法士、理学療法士、保育士、幼稚園教諭、教員免許、社会福祉士など多職種連携(チームアプローチ)を行っている また、毎月講師を招聘し全スタッフが応用行動分析(ABA)を学んでおり、療育の質の担保を推進している	・それぞれのスタッフ、各職種の専門性を活かせるように取り組んでいる。 ・毎日ミーティングやカンファレンス、事例検討を行っている。 ・座学も実践に生かせるように取り組んでいる	・研修やカンファレンス、多職種連携の機会を増やす ・事業所内だけでなく、関係機関との連携を強化する ・より良くなるように日々PDCAを回していく
2	児童発達支援は1対1(多くても2対1)、放課後等デイサービスは3対1程度でと手厚い支援を行っている。	・利用児童が通所している時間はできるだけスタッフが支援現場にはいれるように1日に流れを決めている。 ・お互いにフォローしながら業務を行っている	・業務効率化を進める ・環境調整に努める
3	屋内だけでなく、屋外(グラウンドや畑など)でのびのびと活動できる環境が揃っている	・日々の安全管理や設備チェックを行っている。 ・畑では植え付けから収穫まで行っており、貴重な体験となっている。(食育にも繋がっている)	・より安全に活動できる環境作り

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時、災害時などの訓練の状況や緊急時のマニュアルなど改良とその周知	・取り組んではいるものの、曜日ごとで利用児童が違うなど、周知が行き届きにくい ・現場の実態に併せて、適宜見直しを行っていく	周知する機会を増やす(SNSや掲示や連絡帳。口頭での伝達など)
2	活動の様子やSNS等などの発信が少ない	・個人情報を遵守しながらの発信で準備等に時間がかかる	担当やルール、頻度などを決めて取り組んでいく 業務効率化を進める
3	ペアレントトレーニングなどの家族支援プログラムの機会が少ない	・取り組んではいるものの、機会が少ない ・多くの家族が参加できる日程や時間を考慮しながらの開催調整	DVDやYouTube等を作成しており、発信の機会を増やしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		子ども支援室みらい（児童発達支援）				公表日	令和8年4月22日		
		利用児童数		25名		回収数		25人	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	6		1	子どもが楽しく活動を行っている	引き続き楽しく活動できる工夫を行っていく	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			2			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	3		1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		1	子どもに合わせて支援を行っている	引き続きオーダーメイドの支援に取り組んでいく	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			1			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20			1			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			2			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		1			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	3	2	8	保育園とも連携されていて安心してお任せできている。	引き続き、連携を強化していく	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20			2			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	1			子どもの様子や相談ごともしやすい環境	引き続き、相談しやすい環境づくりに努める	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	2	1	3			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	3		8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				とても安心感をもって毎回楽しみにしている	引き続き、安心・安全・楽しいを大切にしてい
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			先生が大好きすぎて「早く行く」と話す	引き続き、安心・安全・楽しいを大切にしてい
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子ども支援室みらい（児童発達支援）				公表日	令和8年4月22日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	使用していない部屋や屋内用簡易テントなどできるだけ工夫している	クールダウンの場所の確保	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	4			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援室みらい(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年4月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年4月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公認心理師、作業療法士、理学療法士、保育士、幼稚園教諭、教員免許、社会福祉士など多職種連携(チームアプローチ)を行っている また、毎月講師を招聘し全スタッフが応用行動分析(ABA)を学んでおり、療育の質の担保を推進している	・それぞれのスタッフ、各職種の専門性を活かせるように取り組んでいる。 ・毎日ミーティングやカンファレンス、事例検討を行っている。 ・座学も実践に生かせるように取り組んでいる	・研修やカンファレンス、多職種連携の機会を増やす ・事業所内だけでなく、関係機関との連携を強化する ・より良くなるように日々PDCAを回していく
2	児童発達支援は1対1(多くても2対1)、放課後等デイサービスは3対1程度でと手厚い支援を行っている。	・利用児童が通所している時間はできるだけスタッフが支援現場にはいれるように1日に流れを決めている。 ・お互いにフォローしながら業務を行っている	・業務効率化を進める ・環境調整に努める
3	屋内だけでなく、屋外(グラウンドや畑など)でのびのびと活動できる環境が揃っている	・日々の安全管理や設備チェックを行っている。 ・畑では植え付けから収穫まで行っており、貴重な体験となっている。(食育にも繋がっている)	・より安全に活動できる環境作り

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時、災害時などの訓練の状況や緊急時のマニュアルなど改良とその周知	・取り組んでいるものの、曜日ごとで利用児童が違うなど、周知が行き届きにくい ・現場の実態に併せて、適宜見直しを行っていく	周知する機会を増やす(SNSや掲示や連絡帳。口頭での伝達など)
2	活動の様子やSNS等などの発信が少ない	・個人情報を遵守しながらの発信で準備等に時間がかかる	担当やルール、頻度などを決めて取り組んでいく 業務効率化を進める
3	ペアレントトレーニングなどの家族支援プログラムの機会が少ない	・取り組んでいるものの、機会が少ない ・多くの家族が参加できる日程や時間を考慮しながらの開催調整	DVDやYouTube等を作成しており、発信の機会を増やしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子ども支援室みらい（児童発達支援）					公表日	令和8年4月22日	
		利用児童数	25名		回収数	25人		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	6		1	子どもが楽しく活動を行っている	引き続き楽しく活動できる工夫を行っていく
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	3		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		1	子どもに合わせて支援を行っている	引き続きオーダーメイドの支援に取り組んでいく
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	2	8	保育園とも連携されていて安心してお任せできている。	引き続き、連携を強化していく
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	1			子どもの様子や相談ごともしやすい環境	引き続き、相談しやすい環境づくりに努める
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	2	1	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	3		8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				とても安心感をもって毎回楽しみにしている	引き続き、安心・安全・楽しいを大切にしてい
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			先生が大好きすぎて「早く行く」と話す	引き続き、安心・安全・楽しいを大切にしてい
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子ども支援室みらい（児童発達支援）				公表日	令和8年4月22日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	使用していない部屋や屋内用簡易テントなどできるだけ工夫している	クールダウンの場所の確保	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	4			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援室みらい(保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月1日		～
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公認心理師、作業療法士、理学療法士、保育士、幼稚園教諭、教員免許、社会福祉士など多職種連携(チームアプローチ)を取り入れ、基本的に2名以上で訪問支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのスタッフ、各職種の専門性を活かせるように取り組んでいる。</li> <li>訪問先へ分かりやすい、取り入れやすいと意識している</li> <li>訪問先で実際に使用できる教具等を持って行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修やカンファレンス、多職種連携の機会を増やす</li> <li>関係機関との連携強化</li> <li>フォーマルアセスメントなどエビデンスのある情報共有や助言など</li> </ul>
2	基本的には自事業所の通所支援(児童発達支援、放課後等デイサービス)を行っているので、自事業所での様子や課題など情報共有でき、通所支援と連動できている	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問時の様子はミーティング等で全スタッフへ共有し、共通認識を持って取り組んでいる</li> <li>訪問の様子を元に、自事業所での療育課題に落とし込んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自事業所だけでなく、他施設や関係機関との連携を強化する。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の状況も鑑みの中で、間接支援や情報共有の時間が限られている	できるだけ訪問先の都合を優先しており、その中で進めているため	訪問先にできるだけ負担をかけない形で、適切かつ要点を整理して支援を行う
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	子ども支援室みらい（保育所等訪問支援）						
					公表日	令和8年4月27日	
					利用児童数	37	回収数 33
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	21	1				
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	29	1				
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	32					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	31					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	33					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	31					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	32					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	30					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	31					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1				
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	28				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	29				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	29				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	21				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	29			全く嫌がることはなく来られた際は嬉しそうに報告してくれます。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	29			保育園ともよく連携してくれていて満足しています。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

子ども支援室みらい（保育所等訪問支援）

公表日

令和8年4月22日

利用児童数

19施設

回収数

17施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	17			<ul style="list-style-type: none"> <li>園での工夫を伝え、本児にとってどうしたらもっとより良い環境になるかなど一緒に考えて頂けた。</li> <li>事業所の様子を知ることができるので良いです。</li> <li>クラス担任としっかり共有することができている。</li> <li>きさくに話して細かいところも言える関係になれた</li> <li>学校以外の様子も聞けてよかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園での工夫や実践を共有しながら、児童にとってより良い環境づくりについて関係者と共に検討する「双方向型の支援」を継続してまいります。</li> <li>事業所での様子については、具体的な場面や支援内容、変化を分かりやすくお伝えし、他の場面でも活かせる情報提供を行います。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	15	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>園で行っている支援の仕方を認めて頂いたり新たな工夫を教えてくださいとも満足している。</li> <li>事業所ではこのように対応しています。と教えてくださいで助かっています。</li> <li>いつも優しく向き合ってくださいの姿をみえています。子どもたちも安心しているようです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園で実施されている支援を尊重しながら、その良さを活かしつつ、より効果的な関わり方や新たな工夫について提案し、共同で支援の質向上を図ってまいります。</li> <li>事業所での具体的な対応方法や支援の意図について、分かりやすく丁寧に伝えるし、他の場面でも活かせるよう情報共有を行ってまいります。</li> </ul>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	17			<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の支援のアドバイスなど直接伺うことができ理解が深まった。</li> <li>去年までの姿や様子などを聞いてすり合わせすることができました。</li> <li>ひとりひとりに応じて対応の仕方やアドバイス等を教えてくださいで園でも取り入れやすいです。</li> <li>相談事にはしっかり考えて提案してもらっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の支援方法について、具体的な場面に基いたアドバイスを分かりやすくお伝えし、理解が深まるよう丁寧な説明を行ってまいります。</li> <li>これまでの経過や過去の様子も踏まえながら現状とのすり合わせを行い、一貫性のある支援につなげてまいります。</li> </ul>
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	16	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>集団の中での困りごとを伝えると小集団で練習の機会を作って頂け本児の安心感につながった。</li> <li>子どもたちの成長が多く見られます。</li> <li>月に数回見に来てくださることで、困りごとの相談がしやすい環境だと思えます。</li> <li>子どもたちが安心して成長が見られ解消されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団場面での困りごとに対しては、小集団での練習機会を設けるなど段階的な支援を行い、児童の安心感と成功体験の積み重ねにつなげてまいります。</li> <li>児童の成長や変化を丁寧に捉え、その過程を関係者と共有することで、さらなる支援の質向上を図ってまいります。</li> </ul>
5	事業所からの支援に満足していますか。	17			<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時はもちろん月2回の訪問の際に具体的な事業所での内容を教えて頂いている。</li> <li>園の様子を見ていただいて、子どもの成長や今後のことについてたくさんお話をさせていただきました。</li> <li>園に来てくださることで、園の様子も伝わりやすく、議場所での様子も共有できるので満足です。</li> <li>満足しています</li> <li>保護者対応に関しても相談しやすく心強かったです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や定期訪問の機会を活用し、事業所での具体的な支援内容や児童の様子について、引き続き分かりやすくお伝えしてまいります。</li> <li>園での様子を踏まえながら、児童の成長や今後の支援方針について丁寧に共有し、関係者間での共通理解を深めてまいります。</li> </ul>
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭」「療育施設」「園」と連携して本児にとってより良い関わり方、環境づくりを行っていくことができました。</li> <li>訪問の時間が朝、昼、午後など子どもの姿が偏らないようにきていただいているので、まんべんなく見ることができています。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見を踏まえ、今後は以下の点を強化・改善してまいります。</li> <li>家庭・園・療育施設の三者での連携をさらに強化するため、情報共有の仕組みを整備し、支</li> </ul>	

<p>んなく見くらべていることにも感謝しております。毎回子どもの成長や最近の様子などたくさんお話をいただいているので安心感がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本児にとってどういう形が一番適切なのか、どのような配慮が好ましいか一緒に悩み解決していただき大変助かりました。また機会があればよろしく願います。</li><li>・児に寄り添った支援をして下さり、園とも共有して下さるので助かっています。困りごともしなくなり何より楽しんで行っているのが成長が見れそうです。</li><li>・園の要望にしっかり対応していただいて大変お手数をおかけしております。いつもありがとうございます。</li><li>・いつも明るく対応してもらっています。子どもたちがかえってきた時にとても満足した顔をしているので安心しています。訪問支援の時に相談や最近の様子等を話しています。そのことを受け、療育の様子や課題など保護者に伝えてもらっていると思いますが、園にも共有していただくと嬉しいです。課題や成長など共有することで更なる成長につながっていくと思います。</li><li>・4月～9月までの様子と10月～3月までの様子の違いを教えてください感謝しています。学習に向かえるようになり集中できるようになった。</li><li>・頻度について月1回でもいいのではなかと思いました。</li><li>・情報共有でき、支援もしやすくてとても助かりました。</li><li>・子どもが行き渋った時の対応について、決まり事があるといいなと思った。</li><li>・具体的な支援のアイデアを出していただき、事業所での様子を教えてください参考になりました。</li><li>・児童の課題や対応について困ったり悩んだりしていることを相談すると答えてくれ、指導がしやすくなりました。</li><li>・学校での様子しか見えないので、別の場面での本人、回りの様子など聞けるのでとても助かっています。訪問中にいつも本人たちをほめてくださるので私も嬉しいです。</li></ul>	<p>接の一貫性を高めたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・訪問後の園へのフィードバックや定期的な共有資料の作成を行い、課題や成長を三者で共有できる体制を構築いたします。</li><li>・訪問頻度については、児童の状況や目的に応じて個別に検討し、その意図を丁寧にご説明いたします。</li><li>・引き続き、児童の強みや成長に着目した支援を大切にしながら、具体的で実践しやすい支援方法の提案を行ってまいります。</li></ul>
--	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子ども支援室みらい（保育所等訪問支援）				公表日	令和8年4月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	8	1			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	9				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	9	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	9	1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	7	2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	10				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	10				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	9	1			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	10				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	10				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	10				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	9				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	9	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	10				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	10					

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	9			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	10			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	10			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	8	2		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	10			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	9			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			